

令和7年度 学校教育目標

思いやりと豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる児童の育成 ＜校訓 やさしく かしこく たくましく＞

経 営 の 基 盤

- ① 「県学校教育の指針」「前橋市教育振興基本計画」「まえばし学校教育充実指針」を基盤とした教育活動
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を創造するための学級集団の育成
- ③ 組織を生かした学習指導・生活指導等の展開
- ④ 今日の教育課題に向けて教職員一人一人の持ち味を生かした学校体制づくり
- ⑤ 学校・家庭・地域が一体となった学校づくり

やさしく

思いやりがあり、心豊かな子

- 友だちにやさしくできる。
- 感謝の気持ちを言葉や態度で表す。
- いじめをしない、認めない、許さない。
- 多様な価値を認め、共に生きる。



かしこく

よく考え、進んで学ぶ子

- 目標に向かい、主体的に学ぶ。
- 人の話を最後までしっかり聴く。
- 自分の考えを分かりやすく伝える。
- いろいろな考えを出し合い、学び合う。



たくましく

心身ともに健康で、 ねばり強い子

- 早寝早起き朝ごはん
- 何事も最後までやりとげる。
- 困難を乗り越える。
- 身の回りの危険に気づき、回避できる。



★思いやりと豊かな心を育む学校

※児童が、社会的スキルを身に付け互いの考えを理解し、認め合うことができる学校

※児童が、心理的安全性を高め、優てる学校

○自他の大切さを認め合える人権教育の推進

- ・人権週間、人権集会、人権標語の取組の充実
- ・特別活動を中心とした互いを大切にする活動の充実

○いじめ、不登校「ゼロ」の学校づくり

- ・早期発見（月例アンケートの充実）、保護者との連携
- ・通常級における支援を要する児童への指導等、特別支援教育の充実
- ・発達支持的生徒指導の推進

○生き方の自覚を深める道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳」を意識した道徳の授業改善
- ・道徳教育の全体計画の共通理解

○温かな人間関係を築く活動の充実

- ・多様性を認め合うことについての共通理解
- ・異年齢集団や地域の人々など多様な人と関わる活動の工夫

○集団の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実

- ・学級活動や児童会活動などにおける自分たちの集団生活をよりよくするため等の活動の充実
- ・規範意識を高めるために自己有用感を育てる指導や認め合うなどの場面設定の工夫

○豊かな心を育む児童の活動の充実

- ・挨拶と返事、言葉遣い（代表委員会）
- ・朝読書、読書週間、ピリオバトル（図書委員会）
- ・花いっぱい運動（環境飼育委員会）

○特別活動を通して主体性と協力する心の育成

- ・児童主体の委員会・集会・縦割り班活動等の充実（児童が主役の学校行事の運営）

○交流体験学習の充実

- ・まち探検や米作りなどで地域の方々と交流体験学習の実施

○美しく整備された環境づくり

- ・清掃活動の充実による美しい生活環境の保全、環境教育の推進（エコ活動）
- ・委員会を中心とした花いっぱい運動の推進

目指す教職員像

○高い専門性を有する教職員

- ・教科に関する専門的な知識・技能を有し、児童理解に立った分かりやすい学習活動が展開できる。
- ・児童の気持ちや資質能力を的確にとらえ、そのよさを生かしながら学級経営を進めることができる。

○豊かな人間性を有する教職員

- ・児童に対する深い教育的愛情や人権尊重の精神をもち、児童の立場に立って支援できる。
- ・教育に対する情熱、使命感をもつとともに、温かみがあり、常に児童から学ぶとする。

○社会人として優れた識見を有する教職員

- ・幅広い教養を身に付け、社会人として適切な言動をとることができる。
- ・職員、保護者、地域の人々と協力し合い、よりよい学校を築こうとする。
- ・高い倫理観と規範意識をもち、職責を果たすことができる。

★自ら学び、新しい発見ができる学校

※児童が、課題に対する見通しをもって、粘り強く取り組める学校

※児童が、友だちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生み出される学校

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進

- ・児童が主役の授業づくり
- ・めあての明確化
- ・児童が、課題に対する見通しをもって、粘り強く取り組める授業づくり
- ・友だちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業づくり
- ・自分の学びを振り返り「できた、分かった、もっと分りたい、できるようになりたい」など次の学びや生活に生かす力を育む授業づくり
- ・習得型、活用・探究型授業の計画的実施
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実

○基礎的な知識・技能の定着

- ・漢字、計算コンテストを活用した朝学習の充実
- ・各種学力検査の分析を踏まえた授業改善

○学びの質を高めるICT活用の推進

- ・ICTの効果的な活用

○体験活動を重視した学習の推進

- ・学校行事を通じた体験活動の充実
- ・家庭や地域と連携した体制づくり

○コミュニケーションを重視した英語学習

- ・ALT、MESと担任との連携の充実、寺子屋英語の活用

○自ら探究する総合的な学習の時間の充実

- ・総合的な学習の見直し、改善、充実
- ・実態を考慮した年間指導計画の見直しと共通理解
- ・児童が本気で解決したいと思える課題設定の工夫
- ・探究の成果をまとめ、提案する過程の工夫

○読書活動の質的向上の推進

- ・朝の読書、読み聞かせ、家庭学習での読書を推進
- ・図書室、県立図書館との連携により、読書時間の充実、読書環境の整備
- ・図書委員会による多読賞、ピリオバトル開催などで読書活動の推進

地域に開かれた学校

○地域の方々の協力・支援を受けて、元気な学校づくり

- ・保護者の協力と支援 ・地域ボランティア（登下校の見守り隊） ・サポート会議

○コミュニティースクールと協働した学校運営の推進

- ・地域人材による学校運営方針や課題の共有化

○前橋国際大学等との連携

- ・さくらプラン（学校フィールド学習） 学生が1週間学習支援を行う活動の有効活用
- ・さくらんぼプラン（小学校教育サポーター）決まった曜日、時間、クラスで1年間学習支援を行う活動の有効活用

★体力・気力・望ましい生活習慣を身に付ける学校

※児童が仲間と積極的に関わりながら、楽しく、安心して運動に取り組むことを通して、

体力の向上を図る学校

○体力向上を図る取組の推進

- ・外遊びの推奨など運動に親しむ習慣づくり
- ・体力テストの分析を生かした授業改善
- ・ICTを活用した動画撮影や資料提示などで「できた・分かった」を実感させる授業の工夫
- ・運動会、持久走大会等の体育的行事の充実

○基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成

- ・望ましい生活習慣の定着に向けた家庭との連携
- ・早寝、早起き、朝ごはんの取組の推奨
- ・規則正しい生活習慣をテーマとした学校保健委員会の取組

○食育の推進

- ・食に関する実践的・系統的な指導の工夫
- ・家庭や地域と連携した望ましい食習慣指導の充実

★安心・安全な学校

※児童が、安全で安心して過ごせる学校

○安全管理・環境衛生管理体制の充実

- ・生活、交通、災害の3観点を盛り込んだ学校安全計画の見直しと実践
- ・校内巡視等の日常的な安全確保と定期的な安全点検の実施
- ・自転車の乗り方教室、交通安全教室の実施
- ・避難訓練、防犯・防災訓練等の計画的な実施

○家庭や地域と連携した安全な登下校対策

- ・集団下校、一斉下校、地域の見守りでの安全確保
- ・保護者、職員からの目録での通学路点検
- ・大規模な災害を想定した引き渡し訓練の実施

○危機管理の徹底

- ・職員による危機管理マニュアルの共通理解
- ・危険回避能力を高める学習活動の工夫
- ・地域の教育力を生かした学習、活動の充実

今年度の重点取組

①一人一人が「チーム寛井」の一員として参画する学校づくりの推進

- ・学校課題の解決に向けた「チーム寛井」としての指導体制の構築と取組の推進

②開かれた学校づくりの推進

- ・学校支援や学校生活支援における保護者・地域ボランティアの積極的な活用
- ・学校公開、授業参観、学校・学級だより、すぐる等による学校の取組に関する積極的な情報提供及び家庭や地域の方々との協力体制づくり

③個々のニーズに応じた校内体制づくり

- ・一人一人を大切に特別支援教育の充実

④教職員の資質・能力の向上

- ・指導力の向上を目指した校内研修の充実
- ・家庭科を中心とした授業改善

⑤体力向上

- ・組織的計画的な取組
- ⑦安全・安心な学校、地域から信頼される学校づくり
- ・関係諸機関と連携した危機管理体制の充実